

第 11 回一宮の魅力ある海岸づくり会議結果のとりまとめ（主な議事内容）

(1) 第 9 回会議の議事概要について（資料-1）

- ・特に指摘事項等はなかった。

(2) 粗粒材養浜予備試験のモニタリング結果の報告（資料-2）

- ・石が漂着するような状況にあるので、粗粒材が流出している可能性があると考えている。（大橋代理委員）
- ・他の海岸の事例によると、粗粒材は沿岸方向には移動するが、汀線付近に打ち上がる特性を有していることから、沖合への流出はほとんど生じない。（宇多副会長）

(3) 小突堤の整備状況について（資料-3）

- ・小突堤の設置効果については、シミュレーションによる予測結果との比較検討が必要である。（川上委員・大橋代理委員）

(4) 会議の経緯と今後の進め方について（資料-4）

- ・会議については休会とする。（近藤会長）
- ・最近では、設立当初に熱心に議論していたメンバーが欠席しており、有益な議論が行なえていない状況となっている。（清野委員・近藤委員）
- ・何か問題が起きた時に集まって議論する場は必要である。また、広範囲な立場の方を集めることが必要である。（島本委員）
- ・魅力ある海岸づくりの議論をするためには、ウミガメの産卵場とかかわりのある海岸植生の専門家を加える必要がある。（秋山委員）

(5) その他

- ・海岸侵食の原因について定量的に評価する必要がある。また、カゴマットの設置状況を時系列的に整理する必要がある。（秋山委員）
- ・海水浴場には養浜が必要である。（川上委員）